

肺がん検診の実施体制

肺がん検診 市町村チェックリスト実施率

市町村チェックリスト実施率とは

がん検診の実施主体である市町村が、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

令和3年度 市町村チェックリスト実施率

		肺
問1. 検診対象者の情報管理 (4項目)	集団	60% (60%)
	個別	68% (65%)
問2. 受診者の情報管理 (2項目)	集団	94% (90%)
	個別	89% (82%)
問3. 受診者及び要精検者への説明 (3項目)	集団	43% (44%)
	個別	32% (24%)
問4. 精検結果の把握、 精検未受診者の特定と受診勧奨 (6項目)	集団	90% (81%)
	個別	70% (59%)
問5. 地域保健・健康増進事業報告 (5項目)	集団	93% (92%)
	個別	83% (88%)
問6. 検診機関の質の担保 (7項目)	集団	33% (30%)
	個別	28% (16%)

		肺
問7. 受診率の集計 (4項目)	集団	89% (83%)
	個別	92% (78%)
問8. 「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、 「高危険群中の喀痰容器配布割合」、 「喀痰容器配布中の回収率」、 「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」の集計 (4項目)	集団	61% (68%)
	個別	40% (16%)
問9. 要精検率の集計 (4項目)	集団	83% (81%)
	個別	85% (75%)
問10. 精検受診率・未受診率の集計 (5項目)	集団	82% (80%)
	個別	79% (71%)
問11. がん発見率の集計 (4項目)	集団	68% (74%)
	個別	71% (66%)
問12. 陽性反応適中度の集計 (4項目)	集団	61% (43%)
	個別	67% (47%)
問13. 早期がん割合の集計 (4項目)	集団	72% (58%)
	個別	79% (52%)

注 上段 R3年度実施率 (赤字は60%以下)
下段 前年度実施率

令和3年度 市町村チェックリスト実施率（特に実施率が低い項目）

		肺
問1. 検診対象者の情報管理	集団	60%
	個別	68%
問1-2.対象者全員に、個別に受診勧奨を行ったか	集団	15/27
	個別	13/18
問1-2-1.受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行ったか	集団	1/27
	個別	1/18

		集団	個別
問3. 受診者及び要精検者への説明		43%	32%
問3-2.要精検者全員に対し、受診可能な精検機関名の一覧を提示したか	集団	8/27	
	個別	2/18	
問3-2-1.上記一覧に掲載したすべての精検機関には、あらかじめ精検結果の報告を依頼したか	集団	6/27	
	個別	2/18	

		集団	個別
問6. 検診機関の質の担保		33%	28%
問6-1.委託先検診機関を、仕様書の内容に基づいて選定したか	集団	17/27	
	個別	10/18	
問6-1-1.仕様書(もしくは実施要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしたか	集団	15/27	
	個別	8/18	
問6-1-2.検診終了後に、委託先検診機関で仕様書(もしくは実施要綱)の内容が遵守されたことを確認したか	集団	14/27	
	個別	7/18	
問6-2.検診機関に精度管理評価を個別にフィードバックしたか	集団	5/27	
	個別	3/18	
問6-2-1.「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか	集団	5/27	
	個別	3/18	
問6-2-2.検診機関毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか	集団	3/27	
	個別	2/18	
問6-2-3.上記の結果をふまえ、課題のある検診機関に改善策をフィードバックしたか	集団	3/27	
	個別	2/18	

		集団	個別
問8.「肺がん検診受診者中の高危険群割合」等の集計		61%	40%

注 各問については、実施率で記載
各項目については、実施市町村数/対象市町村数で記載
(いずれも赤字は60%以下)

肺がん検診 検診機関チェックリスト実施率

検診機関チェックリスト実施率とは

市町村が行うがん検診を受託する検診機関において、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

1 肺がん検診

令和3年度 検診機関チェックリスト実施率 肺がん検診

	令和3年度	令和4年度
回答検診機関数	26機関	23機関
1. 受診者への説明(7項目)	88%	96%
2. 質問(問診)、及び撮影の精度管理(11項目)	90%	89%
(1)検診項目は、質問(医師が自ら対面で行う場合は問診)、胸部エックス線検査、及び質問の結果、50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)が600以上だった者(過去における喫煙者を含む)への喀痰細胞診としているか	17/26 65%	16/23 70%
(8)事前に胸部エックス線写真撮影を行う診療放射線技師に対して指示をする責任医師、及び緊急時や必要時に対応する医師などを明示した計画書を作成し、市区町村に提出しているか	14/16 88%	10/17 59%
3. 胸部エックス線読影の精度管理(8項目)	88%	90%
(2)読影は二重読影を行い、読影に従事する医師は要件を満たしているか	16/26 62%	13/23 57%

※ 赤字の項目については、実施率が70%以下のものを抜き出し。

注 読影医の要件

- ・第一読影医:検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会」に年1回以上参加していること
- ・第二読影医:下記の1)、2)のいずれかを満たすこと
 - 1) 3年間以上の肺がん検診読影経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会」に年1回以上参加している
 - 2) 5年間以上の呼吸器内科医、呼吸器外科医、放射線科医のいずれかとしての経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会」に年1回以上参加している

1 肺がん検診

令和3年度 検診機関チェックリスト実施率 肺がん検診

	令和3年度	令和4年度
回答検診機関数	26機関	21機関
4. 喀痰細胞診の精度管理(7項目)	97%	96%
5. システムとしての精度管理(7項目)	80%	80%
(4) 検診に従事する医師の胸部画像読影力向上のために「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会」を年に1回以上開催しているか。もしくは、他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌学会等が主催する胸部画像の読影に関するセミナー・講習会を年に1回以上受講させているか	16/26 62%	13/23 57%
(5) 内部精度管理として、検診実施体制や検診結果の把握・集計・分析のための委員会（自施設以外の専門家を交えた会）を年に1回以上開催しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した同様の委員会に年に1回以上参加しているか	14/26 54%	12/23 52%

※ 赤字の項目については、実施率が70%以下のものを抜き出し。